

各 位

上場会社	菊水電子工業株式会社
代表者	代表取締役社長 小林 一夫
(コード番号	6912)
問合せ責任者	常務取締役管理本部長 齋藤 士郎
(TEL	045-593-0200)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	8,100	650	670	460	54.61
今 回 修 正 予 想 (B)	7,600	440	430	300	35.65
増 減 額 (B - A)	△500	△210	△240	△160	
増 減 率 (%)	△6.2	△32.3	△35.8	△34.8	
(参 考) 前 期 実 績 (平 成 2 8 年 3 月 期)	7,966	617	643	455	53.79

修正の理由

我が国経済は、緩やかな景気回復基調が続いているものの、世界経済の減速懸念や為替相場変動などの影響から輸出と生産面は横ばいで推移するなど、弱さが見られました。

また、海外経済においても同様に景気は緩やかに回復しておりますが、中国をはじめとする新興国経済減速の影響や英国の欧州連合(EU)離脱問題、米国の保護主義的政策に対する懸念等により、先行きは不透明感が強まっております。

一方、当社グループが属する電子計測器、電源機器等の業界においては、輸出の弱含みや製造業の設備投資への慎重な姿勢がみられ、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは引き続き環境・エネルギー関連市場、自動車関連市場及び冷凍空調市場を中心に積極的な営業活動をかさねてまいりました。

しかしながら、厳しい環境の下、売上高が当初計画を下回る見込となり、損益面につきましても営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回予想を下回る見込みとなりました。

以上の理由から、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました通期業績予想を修正するものであります。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以 上